

令和4年度

決算概要

第5期

公立大学法人 公立小松大学

(目 次)

1	貸借対照表の概要	1
2	損益計算書の概要	3
	主要経費の年度推移	5
3	キャッシュ・フロー計算書の概要	6
4	決算報告書の概要	7

1 貸借対照表の概要

貸借対照表は、決算日（3月31日時点）における全ての資産、負債及び純資産を記載した本学の財政状況を表すものです。

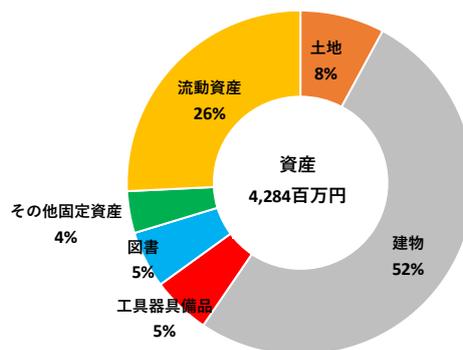
貸借対照表では、右側（貸方）で元手資金をどのような方法で集めているか（資金の調達方法）を示し、左側（借方）でどのような形で運用しているか（資金の運用形態）を示しています。

(単位：千円)

		令和4年度	令和3年度	前年度比			令和4年度	令和3年度	前年度比		
資産の部	固定資産	土地	335,790	335,790	0	負債の部	資産見返負債	726,215	660,392	65,823	
		建物	2,211,949	2,299,866	△ 87,917		固定負債	長期寄附金債務	531,776	509,538	22,238
		構築物	16,872	18,535	△ 1,663		退職給付引当金	83,774	72,299	11,475	
		機械装置	18,440	19,859	△ 1,419		長期リース債務	402,090	367,932	34,158	
		工具器具備品	234,106	214,505	19,601		固定負債合計	1,743,855	1,610,161	133,694	
		図書	228,931	216,692	12,239		流動負債	授業料債務	133,040	0	133,040
		美術品・收藏品	13,384	13,384	0			寄附金債務	9,070	25,532	△ 16,462
		船舶	2,162	1,109	1,053			前受受託研究費等	18,011	5,156	12,855
		車両運搬具	2,012	4,003	△ 1,991			未払金	74,973	139,922	△ 64,949
		建設仮勘定	82,460	0	82,460			預り金	22,638	19,263	3,375
		有形固定資産合計	3,146,106	3,123,743	22,363			リース債務	45,959	48,075	△ 2,116
		無形固定資産	ソフトウェア	33,550	43,509			△ 9,959	その他	46,785	61,344
		その他の無形固定資産	15	317	△ 302		流動負債合計	350,476	299,292	51,184	
	無形固定資産合計	33,565	43,826	△ 10,261	負債合計③	2,094,331	1,909,453	184,878			
	投資その他の資産	50	50	0	純資産の部	資本金	1,956,640	1,956,640	0		
	固定資産合計①	3,179,721	3,167,619	12,102		資本剰余金	48,803	134,398	△ 85,595		
	流動資産	現金及び預金	1,085,179	908,982		176,197	利益剰余金	184,475	95,546	88,929	
		未収金	2,582	2,669		△ 87	(うち目的積立金)	95,546	0	95,546	
		その他	16,767	16,767		0	(うち当期総利益)	88,929	95,546	△ 6,617	
		流動資産合計②	1,104,528	928,418	176,110	純資産合計④	2,189,918	2,186,584	3,334		
資産合計(①+②)	4,284,249	4,096,037	188,212	負債純資産合計(③+④)	4,284,249	4,096,037	188,212				

資産の状況 (R5.3.31)

資産(約42.8億円)は、右図のように、建物が52%と最も多く、以下、流動資産(26%)、土地(8%)、工具器具備品(5%)、図書(5%)等となっています。



① 資産の部《42億8千4百万円（対前年度+1億8千8百万円）》

固定資産合計 31億8千万円（対前年度+1千2百万円）

【主な特徴】

- ・粟津、末広キャンパスの研究設備、中央・末広キャンパス高速カラー印刷機及び情報処理環境基盤整備の新規リース分（工具器具备品）
- ・末広キャンパス研究実験棟建設費の一部繰越し（建設仮勘定）

流動資産合計 11億5百万円（対前年度+1億7千6百万円）

【主な特徴】

- ・学生数増による運営費交付金の増加、末広キャンパス研究実験棟建設費等の一部繰越しのため（現金及び預金）

② 負債の部《20億9千4百万円（対前年度+1億8千5百万円）》

固定負債合計 17億4千4百万円（対前年度+1億3千4百万円）

【主な特徴】

- ・新規リース物件の増加（長期リース債務）
- ・翌年度に財源として活用する承継資金として、流動負債の寄附金債務から長期寄附金債務への振替

流動負債合計 3億5千万円（対前年度+5千百万円）

【主な特徴】

- ・末広キャンパス研究実験棟建設等繰越しによる増加（授業料債務）

③ 純資産の部《21億9千万円（対前年度+3百万円）》

【主な特徴】

- ・当期総利益を計上

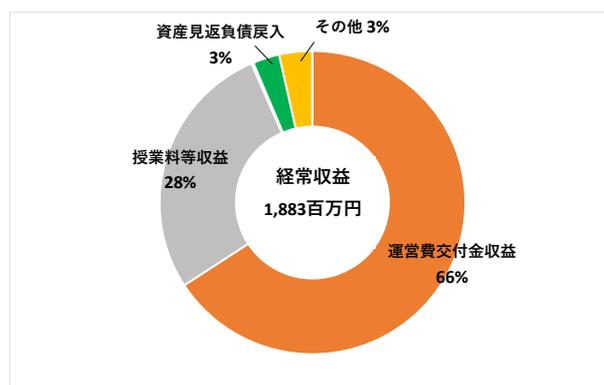
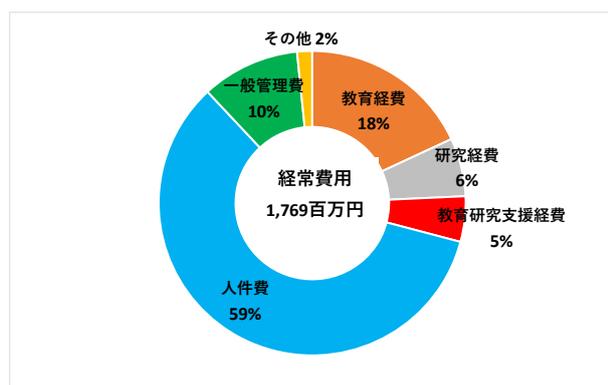
2 損益計算書の概要

損益計算書は、一会計期間（4月1日から翌年3月31日までの一年間）に属する全ての費用と収益を記載した本学の運営状況を表すものです。

(単位：千円)

		令和4年度	令和3年度	前年度比
経常費用	業務費			
	教育経費	320,108	303,501	16,607
	研究経費	109,369	94,145	15,224
	教育研究支援経費	85,247	100,253	△ 15,006
	受託・共同研究費	26,760	29,527	△ 2,767
	人件費	1,042,523	1,026,350	16,173
	業務費計	1,584,007	1,553,776	30,231
	一般管理費	183,724	170,807	12,917
	財務費用	1,062	1,010	52
	経常費用合計①	1,768,793	1,725,593	43,200
経常利益③ (②-①)		113,929	14,968	98,961
臨時損失④		25,000	314	24,686
当期純利益⑥ (③+⑤-④)		88,929	14,968	73,961
目的積立金取崩額⑦		0	80,578	△ 80,578
当期総利益⑧ (⑥+⑦)		88,929	95,546	△ 6,617

		令和4年度	令和3年度	前年度比
経常収益	運営費交付金収益	1,239,430	937,415	302,015
	授業料収益	405,890	565,169	△ 159,279
	入学金収益	94,611	98,183	△ 3,572
	検定料収益	19,833	24,524	△ 4,691
	受託・共同研究収益	26,760	27,908	△ 1,148
	寄附金収益	3,943	2,201	1,742
	補助金等収益	1,710	2,459	△ 749
	資産見返負債戻入	53,461	50,160	3,301
	雑益等	37,084	32,542	4,542
	経常収益合計②	1,882,722	1,740,561	142,161
臨時収益⑤		0	314	△ 314



経常費用の状況 (R4.4.1~R5.3.31)

経常費用（約17.7億円）は、上図のように、人件費が59%と全体の約6割を占めており、以下、教育経費（18%）、一般管理費（10%）等となっています。

経常収益の状況 (R4.4.1~R5.3.31)

経常収益（約18.8億円）は、上図のように、運営費交付金収益（66%）と授業料等収益（28%）で全体の9割以上を占めており、この2つを主な収益とする経営体となっています。

① 経常費用《17億6千9百万円（対前年度+4千3百万円）》

【主な特徴】

- ・ウクライナ侵攻に伴う燃料価格高騰や円安の影響による電気料金等の光熱費の増加
- ・新型コロナウイルス感染症の収束傾向により国内外への旅費交通費の増加
- ・大学院（サステイナブルシステム科学研究科）開設による教育経費の増加
- ・栗津キャンパス大学院棟の建設（令和3年度）による建物減価償却費の増加

② 経常収益《18億8千3百万円（対前年度+1億4千2百万円）》

【主な特徴】

- ・大学院（サステイナブルシステム科学研究科）開設による運営費交付金収益の増加

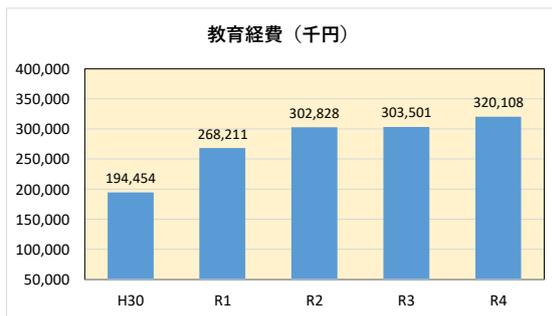
③ 当期純利益《8千9百万円》

経常収益から経常費用を差し引いた経常利益（当期純利益）は、8千9百万円となっています。

本表について

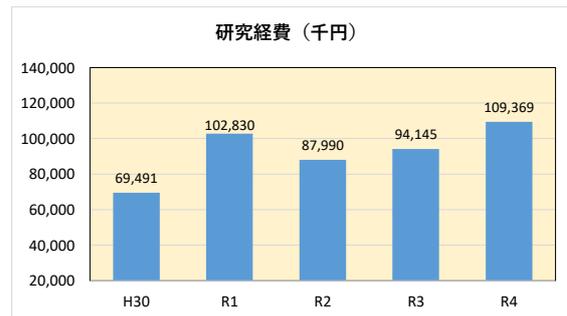
公立大学法人の本務は教育研究活動であるため、利益の獲得を目的とはしておらず、損益均衡が会計制度の原則となっています。しかし、経費の節減や自己収入の増加等の効率的な業務運営や経営努力を行った場合には利益が生じます。

主要経費の年度推移



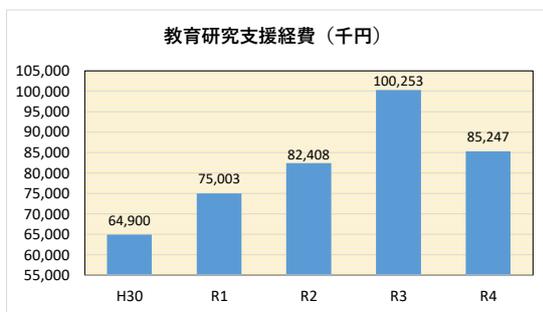
【教育経費】

本法人の業務として学生等に対し行われる教育に要する経費



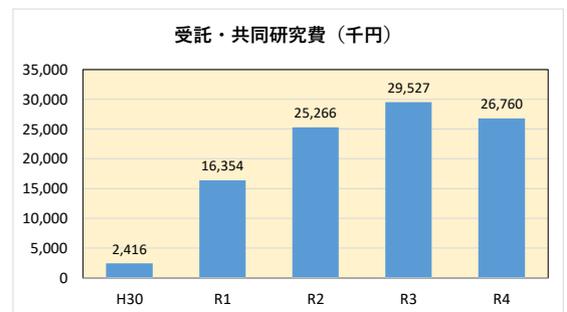
【研究経費】

本法人の業務として行われる研究に要する経費



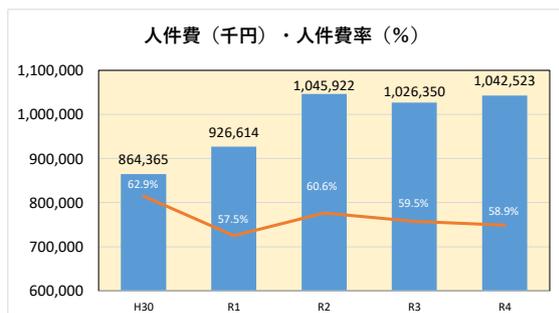
【教育研究支援経費】

法人全体の教育・研究の双方を支援するために設置している附属図書館及び情報管理等に要する経費



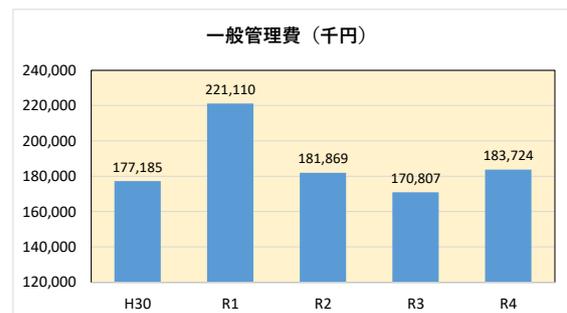
【受託・共同研究費】

受託研究及び共同研究並びに助成金事業の実施に要する経費



【人件費】

本法人に係る役員、教員、職員人件費



【一般管理費】

本法人の業務として行われる一般管理に要する経費

《参考》他の公立大学における人件費率

- ・ 公立大学平均（R4予算） 60.4%
- ・ 類似7大学平均（R3決算） 63.1%

※抽出条件： 2～4学部の公立大学、2～3学部の場合は2学部が本学と同等学部
4学部の場合は3学部が本学と同等学部

3 キャッシュ・フロー計算書の概要

キャッシュ・フロー計算書は、一会計期間における業務活動、投資活動及び財務活動の三つの区分に分けて資金収支の状況を表すものです。

(単位：千円)

		令和4年度	令和3年度	前年度比	
業務活動によるCF	資金増	運営費交付金収入	1,258,156	1,218,544	39,612
		授業料収入	569,494	553,485	16,009
		入学金収入	94,611	98,183	△ 3,572
		検定料収入	19,833	24,524	△ 4,691
		受託・共同研究収入	39,616	16,126	23,490
		補助金等収入	2,393	2,896	△ 503
		寄附金収入	9,719	4,240	5,479
		その他	23,306	51,856	△ 28,550
		小計	2,017,128	1,969,854	47,274
	資金減	原材料、商品又はサービスの購入による支出	564,045	490,492	73,553
		人件費支出	1,048,465	1,030,572	17,893
		その他	35,969	55,916	△ 19,947
		小計	1,648,479	1,576,980	71,499
	業務活動によるキャッシュ・フロー ①		368,649	392,874	△ 24,225
投資活動によるCF	資金増	利息及び配当金の受取額	17	16	1
		小計	17	16	1
	資金減	固定資産取得による支出	141,719	293,466	△ 151,747
		小計	141,719	293,466	△ 151,747
	投資活動によるキャッシュ・フロー ②		△ 141,702	△ 293,450	151,748
財務活動によるCF	資金減	リース債務の返済による支出	49,687	48,075	1,612
		利息の支払額	1,063	1,009	54
	財務活動によるキャッシュ・フロー ③		△ 50,750	△ 49,084	△ 1,666
資金増加額 ④ (①+②+③)		176,197	50,340	125,857	
資金期首残高 ⑤		908,982	858,642	50,340	
資金期末残高 ⑥ (④+⑤)		1,085,179	908,982	176,197	

本表について

- ・業務活動によるCFは、通常の業務活動に伴う資金の動きを表します。
- ・投資活動によるCFは、将来に向けての投資状況を表します。
- ・財務活動によるCFは、資金調達に関する資金の動きを表します。

4 決算報告書の概要

市における会計認識基準（現金主義）に準じ、公立大学法人年度計画における予算と執行状況を対比して表すことにより、公立大学法人の運営状況を報告するものです。

（単位：千円）

	令和4年度			令和3年度			前年比	
	予算額	決算額	差額 (決算-予算)	予算額	決算額	差額 (決算-予算)	予算額	決算額
収入								
運営費交付金	1,243,645	1,258,156	14,511	1,219,724	1,218,544	△1,180	23,921	39,612
学生等納付金	711,451	689,197	△22,254	699,374	681,323	△18,051	12,077	7,874
授業料・実習費	577,807	569,494	△8,313	567,179	553,485	△13,694	10,628	16,009
入学料	102,554	94,611	△7,943	103,165	98,183	△4,982	△611	△3,572
入学検定料	26,400	19,833	△6,567	24,310	24,524	214	2,090	△4,691
その他	4,690	5,259	569	4,720	5,131	411	△30	128
受託研究等収入	22,824	49,334	26,510	20,430	20,606	176	2,394	28,728
受託・共同研究収入	8,000	14,961	6,961	8,000	1,766	△6,234	0	13,195
寄附金収入	14,824	34,373	19,549	12,430	18,840	6,410	2,394	15,533
補助金	3,000	1,710	△1,290	3,000	2,458	△542	0	△748
財務収入・雑収入	27,080	31,826	4,746	20,472	27,411	6,939	6,608	4,415
施設整備費補助金	0	0	0	0	0	0	0	0
承継資金財源	18,000	0	△18,000	230,000	0	△230,000	△212,000	0
目的積立金取崩	0	0	0	0	80,578	80,578	0	△80,578
収入計	2,026,000	2,030,223	4,223	2,193,000	2,030,920	△162,080	△167,000	△697
支出								
業務費	1,509,000	1,357,699	△151,301	1,588,000	1,403,367	△184,633	△79,000	△45,668
教育研究経費	326,000	260,643	△65,357	416,000	345,950	△70,050	△90,000	△85,307
受託研究等費	22,000	28,071	6,071	20,000	29,542	9,542	2,000	△1,471
人件費	1,161,000	1,068,985	△92,015	1,152,000	1,027,875	△124,125	9,000	41,110
一般管理費・財務費用	363,000	349,294	△13,706	375,000	325,101	△49,899	△12,000	24,193
施設整備費	154,000	82,460	△71,540	230,000	213,538	△16,462	△76,000	△131,078
支出計	2,026,000	1,789,453	△236,547	2,193,000	1,942,006	△250,994	△167,000	△152,553
収入-支出	0	240,770	240,770	0	88,914	88,914	0	151,856

【予算額と決算額の差異について】

（収入）

- ・運営費交付金収入（14,511）については、予算時よりも学生数の実績が増加したことにより、予算額に比して決算額が多くなっています。
- ・学生等納付金（△22,254）については、運営費交付金と同様に学生数の実績が増加したものの、減免措置対象額の増などによる授業料・入学料収入の減少、受験者数の実績により入学検定料が減少したことにより、予算額に比して決算額が少なくなっています。
- ・承継資金財源（△18,000）については、経常収益により支出総額を補填できたため承継資金財源を予算執行する必要がありませんでした。

（支出）

- ・教育研究経費（△65,357）については、コロナ禍により、学生の病院等での実習、国際交流活動及び海外研修、教員等の学会・研修会の参加が一部実施できなかったこと、また、生産・供給体制の休止によりサーボプレス購入が繰越しとなったことなどにより、予算額に比して決算額が少なくなっています。
- ・人件費（△92,014）については、教職員の採用実績により、予算額に比して決算額が少なくなっています。
- ・施設整備費（△71,540）については、末広キャンパス研究実験棟新設工事が一部繰越しとなったことにより、予算に比して決算額が少なくなっています。

【決算額に係る前期との増減理由について】

（収入）

- ・運営費交付金（39,612）については、大学院開設により学生数が増加したことにより、前年度に比して多くなっています。
- ・寄附金収入（15,533）については、民間事業者への寄附金を募るなど、寄附金の獲得努力により、前年度に比して多くなっています。

（支出）

- ・教育研究経費（△85,307）については、令和3年度は教務システムのグレードアップ、大学院において使用する設備の導入があったため、前年度に比して少なくなっています。
- ・人件費（41,110）については、退職引当金の引当額の増加等により、前年度に比して多くなっています。
- ・施設整備費（△131,078）については、令和3年度は栗津キャンパス大学院棟の建設があり、当年度完成予定の末広キャンパス研究実験棟の完成が次年度となったため前年度に比して少なくなっています。